

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 政創-02 ☒ 支 援 部 門 都市政策事業									
主管課	政策創造担当(経営企画課)		関連課	経営企画課(平成22年度所管)						
分野名	市街地整備									
目標 (目標値)	快適な住環境の保全									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	979	2,632	0	平成23年度から公共施設 白書作成に関しては、政 策創造担当所管となつた ため、当該事業を分けて 評価しました。					
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	979								
	人員配置数	1.0	3.0	2.0						
	人 件 費(千円)	8,618	27,540	18,970						
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	9,597	30,172	18,970						
	市民1人当 りの経費(円)	54	171	107						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	逗子市	小田原市	三浦市	秦野市		
	施設白書 の作成状況	平成20年度		平成20年度				平成21年度		
	(年度)									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
公共施設の全市的配置計画の策定	○	目標値	既存施設の検討	既存施設の検討	公共施設白書作成					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	既存施設の検討	既存施設の調査						

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。				
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。				
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止				
都市政策事務	979千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	平成22年度は、公共施設配置計画策定に向けた第1段階として、公共施設の実態把握と、他自治体との合同研究会による現状の問題点の把握などを行った。									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)

H22年度の課題	公共施設配置計画策定に向けた現状把握について、施設ごとの利用状況や稼働状況などのソフト面及びハード面の情報収集が不十分であったことから、公共施設の状況調査(耐震状況や目的別施設面積等)を実施する必要があった。ハード面では、建築住宅課が導入を検討している維持保全システムとの調整が必要であった。				
課題解決のための取組	各施設を所管する原局に依頼した調査票により、施設の状況を把握するとともに、他自治体との合同研究会への参加による鎌倉市の現状把握を行った。				
未解決の課題	全市的な公共施設白書作成に向けて、施設ごとの詳細な運営状況の検証が必要である。また、平成22年度に現状把握をしていない施設について早急に現状把握する必要がある。				
今後の方針	概ねすべての公共施設の状況把握を行い、全市的な公共施設配置計画につなげるための公共施設白書を作成する。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ ☐ 事業完了	課長名 下平 和彦

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
都市政策事務	主な個別事業	246 公共施設運営状況調査業務支援委託	1,000	979	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり